

平成 26 年 8 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

8 月は卸売業、小売業、商店街及びサービス業などの非製造業や建設業から、台風や長雨の影響で来客数や売上も減少、工期遅れとの報告が目立つ。

また、建設業では技能者不足、運輸業では乗務員の確保困難との声があり、人材不足が続いている。

景況感は、繊維工業と木材・木製品では、販売量が伸びず悪化してきているとの声がある中、一般機器や輸送機器の製造業では、製造物によって差があるものの、全体では仕事量が増加しているとの声があり、まだら模様が続いている。燃料費等の高止まり等の厳しい状況も続いており、引き続き今後の動向に注目したい。

山口県の主要指標 DI 値（平成 26 年 8 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：38.8% DI 値：▲31.3% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：8.8% 減少：37.5% DI 値：▲28.7% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：5.0% 悪化：33.8% DI 値：▲28.8% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 26 年 8 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲57.1	▲25.0	▲66.7	▲100.0	▲16.7	22.2	▲0.0	▲24.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	全非製造業
▲40.0	▲44.4	▲50.0	▲66.7	20.0	▲42.9	▲36.2
						

全体
▲31.3


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	気温が低めだったので、洋生菓子について例年より販売が好調だった。一方、ゼリー、水ようかんは低調。	パン・菓子製造業
	7月の売上は+7.4%で前年同月をクリア、4～7月累計も前年同期比で+8.7%と好調に推移。8月は8/21時点で昨年比+10%の推移。お盆期間（8月10～18日）の売上は対前年同期比で+12%と大幅にアップ。3月以降、全国TV番組で度々紹介されており、その露出効果が大きいと見ている。8月24日（日）フジテレビ系「報道2001」で全国放送された。	水産食料品製造業 萩市
	8月の売り上げが伸びなかった。天候不順の影響もあるだろうが、全体的に消費が落ち込んでいる雰囲気がある。さまざまな物価の上昇などもあり、今後の動向が不安である。	水産食料品製造業 下関市
	昨今の米余り基調に伴い、本年度の米の取引価格について、大幅な下落となることが、JAから発表された。平成24年産と比較すると、約40%程度の価格の下落となるとのことなので、大幅な業績悪化となる可能性が高い。	精穀・製粉業
繊維工業	納入先の状況は販売が伸びず厳しい。組合員企業も以前にも増して経営が厳しい。明るい材料がない。	下着類製造業
	今年に入って以降、今まで順調に受注が入って来たが、9月の後半から厳しくなりそう。	外衣・シャツ製造業
木材・木製品	新設住宅着工戸数の減少に伴い、景況感が悪化している。木材価格にも上昇の兆しが無い。	製材業・木製品製造業 山口市
	公共工事の取り扱いも若干あるが、大幅に影響を与える程のボリュームも無いので、秋の需要を期待している。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	全国的に多くの同業社が倒産する中、その分の引き合いがあるかもしれないが、今後、これに対応できる設備投資が出来るかどうかポイントとなる。	印刷 下関市
	8月はお盆休み等休みが多く受注も少なかった。このしわ寄せが9月、10月に回ってくるので、資金繰りが苦しくなる。	印刷 山口市
窯業・土石製品	前年同月に比べ出荷数量が激減している。	砕石製造業
	出荷量は、前月比で101%、前年同月比も101%となった。（岩国地区が引続き増加したことによる。）現時点では、セメント・骨材等の資材調達で、特に	生コンクリート製造業

	問題は生じておらず、砂・砂利・セメントなど原材料価格の値上げの圧力が高まりつつある。	
	「ドームやきものワールド」(11/20～11/26まで 名古屋ドーム)の出展準備をしている。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	自動車関連及び大型構造物製造関連の業種は、好調。プラント輸出関連は前月に引き続き受注が不振となっている。雇用関係では、求人しても人が集まらず社内の年齢層が偏っている。業種で明暗が生じているが、組合全体では年内は好調でプラスの景況。	一般機械器具製造業 防府市
	先月と同様、自動車、機械製造関係企業の設備の稼働率は上昇傾向にある。人手不足から、組合員の外国人技能実習生受け入れの増員や、食品加工関連からも新規の受け入れの相談があった。実習生の場合、入国まで6ヶ月位必要となるので、つなぎのための日本人の臨時職員の紹介を依頼されることも多く、ハローワークに登録してもなかなか確保できない様子である。また、企業の海外展開に伴う人材として、外国人留学生の紹介の依頼もあった。	一般機械器具製造業 宇部市
	売上は前月通りで推移。組合員で明暗がはっきりしている。低調ではあるが仕事量は回復の兆し。	一般機械器具製造業 宇部市
	金型製造の8月の設備操業度は、7月とほぼ同じ。8月の受注はやや低迷状態の上に、価格の引き下げの要求が非常に厳しい状況。現状は特殊金型が多くリピート金型は受注予定があり、何とか9月の操業は現状維持が出来そうな状況。成形製品の設備稼働率は、微増傾向にあるが受注量が不足している状況。新規案件の試作等製品の動きはあるので、これからの受注増に期待するところ。	特殊産業用機械製造業
輸送機器	仕事量増加、人員不足、増員への対応困難。	船舶製造・修理業
	鉄道車両部門の作業量に大きな増減は見え、まずまずの状態推移している。一方、精密加工部門の作業量は、この数ヶ月は3割減の状態が続くと見込まれる。後半の作業高は秋口に入らないと明らかにならない。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	組合員企業が占有している組合名義の土地所有権を、組合員企業名義に移転する企業がある。	各種商品小売業 防府市
	天候不順により夏物商品の売れ行きが鈍化している。	各種商品小売業 山口市
	市内量販店への納入割合は、県外業者からの納入が最近増加している状況で各業種とも苦慮している。	各種商品小売業 下関市

	魚がいなくて魚が獲れないことと雨が続いたことにより海産物が益々品薄で、入札価格が高く買うことが出来ないため、在庫数量が減っている。販売価格も低下しており売上が減少。	乾物卸売業
	雨続きで天候が不安定なため時化も多く魚の入荷が無い状況が続き、卸業者にとっても納入業者にとっても苦しい状況。	生鮮・魚介卸売業
小売業	化粧品業界は盛り上がりの少ない夏であった。これから秋にかけて、新製品の発売や限定品の予約販売等での盛り上がりを期待している。	化粧品小売業
	8月は天候不順のため、7月より組合員の状況が悪化している。全業種で消費者の消費意欲が欠けている模様で、消費税10パーセントへの移行は不可能な状況との意見が強い。農産物は不作で高値で推移。石油など輸入品も海外情勢や円安で高騰中。地方経済の回復感を味わえないままの低迷状態にある。アベノミクス第3の矢の成長戦略に期待をしている。地区の中小企業者の動向は、求人倍率は上昇しているが雇用のミスマッチがあり、特に建設・警備・介護・飲食業で、引き続き人手不足となっている。天候不順のため、海水浴場の低迷や観光地の来場者数にも影響が出た。中国など海外リスクにより製造業が国内に回帰している。自動車関連事業所の稼働率は高水準で推移しており、外国人労働者（ベトナム人男子）の雇用に積極的である。	各種商品小売業 岩国市
	南北自由通路、JR徳山駅橋上駅舎、周南市コンベンション協会の「まちのポート」と、それぞれ9月6日の開業に向けて最後の仕上げ工程に入り、駅隣接地区が生まれ変わりつつある。	各種商品小売業 周南市
	梅雨の様な天候のため、人出も少なく季節商品も販売不振。出口なしの様相。	各種商品小売業 山口市
	7月の酒ディスカウント店退店に伴い売上、客数ともに前年をかなり下回っているが、他の残っている店ではほぼ前年並みの状況。7月上旬には、靴の店が新規オープンしている。	各種商品小売業 長門市
商店街	天候が少し悪かったため今一つではあるが、夏休み、お盆休みなどで少し客足が増し売上也微増の模様。	山口市
	全体的に売上は減少している。原因は8月の天候不順の影響がある。特に電気店の影響が大きく、クーラーの売上が減少。在庫を持たないようにする為、売れ筋をみながらの仕入れとなった。ある衣料品店では、店内に10点位の切り絵や押し花などの作品をかざり、来客とのコミュニケーションを図っている。少しの時間でも足止めになると思われる工夫が見られる。	萩市

サービス業	7月以降、更に来店数が鈍くなったように感じる。消費税増税だけの問題とも言えないのではないかと思う。	美容業
	業界の景況は良くなり悪化の一方に感じる。問題点として員外者の影響が大きい。	理容業
	4～7月までの車検台数合計が対前年比マイナス8%であった。消費税増税前の新車販売増化が現在の車検台数の減少の原因になっている。	自動車整備業
	長雨の影響により気温が上昇せず、エアコン関係の取引が大幅に減少した。その他の商品も、消費税増税の反動なのかわからないが取引は悪化している。	
	フィットネスジムでは、65歳以上の男性会員が増加傾向にある。スイミングでは、雨天が多い影響で短期水泳教室の集客が良くなかった。	スポーツ・健康教授業
	上旬は台風の影響で取消が発生したが、中旬以降は回復傾向に推移した。しかし下旬では昨年開催された全国レベルの大会分の宿泊客が無かった為、上旬の落ちみをカバーできず、全体としては前年割れとなった。	旅館業 山口市
	台風の影響でキャンセルが発生した。雨の多い夏だったので、海水浴帰りのお客様が激減。天候の影響を受けた8月だった。ビジネス系の宿泊所は、対前年を割った施設が多かった。夏休みで家族旅行が多く、スポーツ団体の宿泊もあった。海響館や唐戸市場なども観光客で賑わっていたが、もともこの時期は宴会の開催も少ない時期で、前年同様の動きだった。ネットの活用で、大きく宿泊客が増えた旅館があった。お土産などの購入額は伸びた。インバウンドも少ない地区だが、中国からの観光客が来ている。	旅館業 下関市
	8月の入浴者数は前年同月比で若干増加。管理費の増加により営業収益が減少。	旅館業 長門市
来客数では、地区で差があるが、各地区とも増加傾向にある。客単価は、期待する程度まで上がらず、むしろ低下傾向である。結果、収益は増加してこない。人件費が収益を圧迫し、加えて、仕入単価、材料費は軒並み高騰。家庭の消費は減少していく傾向にあり、飲食業界には良い材料がない。これで消費税が10%になったら、飲食業者はやっていけない様に思う。	飲食業	

	<p>夏場は、着用する衣類も少なく家庭での洗濯で十分な品物も多いため、例年閑散期となる。また今年は7月末から夏らしい天気もなく悪天候が続いて、各地区で客足に影響がでている模様。岩国市では、8月初旬の大雨で工場のすぐそばまで、下水から溢れた水がせまり、冠水被害がでるところであった。組合各店無事であったが、大雨の後は来客数0人の店舗もあった。この時期は寝具類やカーペットなどの大物クリーニングが多く出る時期だが、先月に続きパツタリである。悪天候が続きクリーニングの出しそびれに繋がっているようで、今までの傾向で行くとこのままクリーニングに出さずにしまわれるパターンになりそう。材料費の値上がりはここのところ落ち着いている。</p>	普通洗濯業
建設業	<p>中電への工事申請は7月180件（当支部分158件）、前年同月203件（同142件）。太陽光発電への申請35件、オール電化申請58件（前年は太陽光16件、オール電化77件）。LED街路灯への切替・新設申請は26件（前年51件）であった。</p>	電気工事業
	<p>大きな方向は回復である。現在は中弛みの状態であり、年末頃より技能者の不足感が高まると思われる。官公庁の工事の割合が増えている。民間工事はマンション・介護老人保健施設程度であり工場の設備投資は活発ではない。</p>	左官業
	<p>8月7日の17時～18時30分に、組合青年部による毎年恒例のボランティア活動で、柳井地区のR188の清掃活動を実施し、31名の参加があった。柳井地区周辺は民間工事が極端に少ないので、公共工事への依存度が非常に高いのが現状。工事の発注が少ないので当然受注も少ない状況。景気の上昇を感じていない。若年労働者の確保が問題になっているが、組合員の方々はあまり関心がない様子。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>長雨のため工事が出来なかったため、工期も迫り建設業者は困っている。</p>	土木工事業 下松市
	<p>26年8月の受注高は、対前年同月比179%。今年度の累計は、対前年比647%。</p>	土木工事業 萩市
	<p>前年同月比では好転をしており、まあまあの仕事量。前月比では変わりがない。平成26年度分発注が遅れており、9月より発注があるようだが、今からまとめて発注となると、人員不足となることが予想される。</p>	管工事業
	<p>お盆前からの車両不足が盆明けの16日から一層不足し、特に鉄鋼素材の長距離輸送の車両が不足した。輸出関係は横ばい。前年同月比で差引“0”の状況。長距離ドライバーの減少が輸送業にとっては大変な</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
運輸業		

<p>痛手である。燃料は1.2円の値上げ。輸送業者にとって燃料価格に一喜一憂の毎月である。</p>	
<p>先月に続いて今月の売上は、昨年水準を下回り、前年同月比で▲10%程度。今期に入りこのような状況が常態化している。燃料価格は、8月に入り原油価格の下落に伴い値下がりしているが、昨年比では8%程度値を上げており依然高い水準にある。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
<p>相変わらず荷動きは悪い。今年の夏は天気が悪いこともあり、清涼飲料水等の季節ものの荷動きが例年に比べてかなり落ち込んでいるようである。倉庫案件はそこそこ安定してある。燃料は高止まり状態である。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
<p>軽油は値上がりそのまま@138円/1ℓ、ガソリンは下がり気味で@160円/1ℓ。世の中は、天候の影響で作物の価格が上がり、増税で大手百貨店の売上が減少している。政府の集団的自衛権の問題、広島土砂災害等次から次と問題ばかりが出てくるが、そのような中でも、我々の業界は苦しみの中、活動していくしかない。ETCの利用が平均した売上をあげており、有難く思っている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下関市</p>
<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲1.4%（平成26年7月1日～平成26年8月20日分）。7月1日～30日分は▲4.4%、8月1日～20日分は+4.7%であった。8月になって若干プラスだが、7月の減少、消費税込みの金額（増税分運賃単価は転嫁済み）、盆休み等で毎年8月は他の月に比べ需要が少ない事などを考慮すると減少傾向が止まったとは思えない状況。防府地区は前年より若干増加、光市地区はほぼ前年並み、周南が減少、下松地区は周南よりも減少している。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが原油と異なり、ブタン、プロパンのCPは前月分よりもさらに下降しており、タクシー会社の購入単価は先月よりさらに1%下がったが、前年8月分には比べ+4%高値となっている。石油石炭税が上がったこともあり、従来の価格に戻ることは難しいように思う。消費税増税後は大幅に利益が減少しており、乗務員の収入も減少している。タクシー事業者の一部では、高齢者の退職もあり、乗務員確保が難しいとの声もある。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>
<p>取扱高は、若干の減少傾向が続いている。</p>	<p>港湾運送業</p>